
研究活動報告

復旦大学日本研究センター第26回年次国際シンポジウム

2016年11月5・6日に、中国・上海市の復旦大学日本研究センターで、「日本の社会保障制度及び関連産業の発展」と題する第26回年次国際シンポジウムが開催された。日本国際交流基金の後援を受けたこのシンポジウムでは、中国側、日本側の研究者が、日本と中国における社会保障制度の概況、日本企業の中国展開、医療と介護制度、女性の活躍や高齢者の所得格差などについて報告を行った。筆者は『日本における人口高齢化とケア人材の国際移動』というタイトルで、今後2030年頃から爆発的に増える中国の高齢人口を念頭に、アジア全体の介護制度の充実が必要であることを訴えた。

上海は中国の中でも高齢化が進み、また介護制度も整備されてきている地域である。中国側のシンポジウム参加者には日本留学生やこれまで人口分野で日本との国際協力を行った人材など知日派も多く、上海を拠点とした日中の高齢化対策に関する協力はすでに一定の水準にあることが実感された。

(林 玲子 記)

シンガポールの人口高齢化及び国際人口移動の実態と その要因に関する資料収集

厚生労働科学研究費補助金（地球規模保健課題推進研究事業）による研究事業「東アジア、ASEAN 諸国の人口高齢化と人口移動に関する総合的研究」の一環として、11月6日から11月12日にかけてシンガポールに滞在し、国立図書館やシンガポール政府統計局、移民局等を訪問し最新の統計資料収集を行った。また、滞在中にシンガポール政府統計局でシンガポールにおける将来人口推計に関して研究報告を行ったほか、シンガポール大学アジア研究所移動クラスターの主催で行われた「アジア太平洋地域における若年層の人口移動」セミナーに出席し、専門家との意見交換を行った。いずれもシンガポールの人口高齢化及び国際人口移動の実態とその要因に関し社会・政治・経済・文化的変動について多面的な意見交換を行うとともに、統計調査データ・論文・報告書を含む貴重な資料を収集できた点で成果があった。

(菅 桂太 記)

日本人口学会2016年度第1回東日本地域部会

日本人口学会2016年度第1回東日本地域部会は、2016年11月20日（日）午後、札幌市立大学サテライトキャンパス（北海道札幌市）で開催された。以下の7つの報告があり、有意義な議論が交わされた。

1. 飯坂正弘（中央農業総合研究センター）..... 仮設住宅からの町内転居を考慮した大槌町の地区別将来人口
2. 丸山洋平（福井県立大学）..... 居住者の年齢分布に着目した住宅所有関係別将来住宅ストックの推計の試み

3. 菅 桂太 (国立社会保障・人口問題研究所)..... 結婚、出産と妻の就業：第5回全国家庭動向調査 (2013年) の結果
4. 鈴木 透 (国立社会保障・人口問題研究所)..... 地域別人口推計と世帯推計の統合の可能性
5. 原 俊彦 (札幌市立大学)..... 北海道の人口動態 2015年：高齢者の移動と外国人居住者の影響
6. 林 玲子 (国立社会保障・人口問題研究所)..... 高齢者の移動—施設人口に注目して
7. 清水昌人 (国立社会保障・人口問題研究所)..... 市区町村における外国人の転入超過と日本人の転出超過

(清水昌人 記)

台湾における低出産・高齢化と政策的対応に関する資料収集

厚生労働科学研究費による研究事業「東アジア，ASEAN 諸国の人口高齢化と人口移動に関する総合的研究」の一環として，筆者が11月22日～26日にかけて台湾を訪問，専門家との面談と資料収集を行った。面談した専門家は，楊靜利教授 (国立中山大学)，陳玉華教授・林明仁教授・薛承泰教授 (国立台湾大学)，楊文山博士・于若蓉博士・蔡明璋博士・林季平博士 (中央研究院) 等である。楊靜利教授は現在台湾人口学会会長であり，日本人口学会との間の連絡を密にすることを確認した。林季平博士とは，12月の国際セミナーに関する打ち合わせを行った。(鈴木 透 記)

第31回日本国際保健医療学会

2016年12月3・4日に，福岡県久留米市の久留米シティプラザで，「民間から発信する国際保健医療」をテーマに，第31回日本国際保健医療学会学術大会が開催された。持続可能な開発目標 SDGs が国連で採択されて1年になり，その評価や民間企業における取組が議論された他，通常の国際協力の枠を超えた，日本の医療の国際展開やグローバルヘルス人材育成戦略，熊本地震災災害支援や海外渡航者の予防対策などをテーマとしてシンポジウム・セミナーが開催された。アジア・アフリカからの参加者も多く，合計で17のシンポジウム・セミナー，103題の口演・ポスター発表が行われた。

筆者は「実施1年を迎えるSDGs-その課題と展望」と題するシンポジウムで，『「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に資する人口エビデンス・ベース-人口登録と動態統計 (CRVS) 整備の現状』と題する報告，「グローバルエイジング」自由集会以て『高齢化と障害率アフリカ19ヵ国を含む世界各国の動向』という報告を行った。(林 玲子 記)

「高齢化する東アジア諸国における国内・国際人口移動」国際セミナー

厚生労働科学研究費補助金「東アジア，ASEAN 諸国の人口高齢化と人口移動に関する総合的研究」では，以下の通り国際セミナーを開催した。

題目：“Domestic and International Migration in Eastern Asian Aging Countries”

日時：2016年12月16日 (金) 13:30～17:00

場所：国立社会保障・人口問題研究所第4・5会議室